

取締役のスキルマトリックス

当社は「中期経営計画（2023～26）」において、事業ポートフォリオの見直しを行い、事業構造を転換し新たな成長へ向かうことを基本方針とし、全ての事業が提供する時間と空間で人々と地域社会のWell-beingに貢献することを目指しています。

今般、中期経営計画の達成に向け、取締役会に求められるスキルを見直し、取締役会の実効性、多様性を確保するとともに、新たに「サステナビリティ」を加え、必要な知識・経験・能力を8項目に分類することとしました。

また、各取締役のスキルについては、各取締役が保有するスキルのうち、特に当社において「期待する」スキルを最大4項目以内に限定して記載することとしました。

今回追加・変更することとしたスキル項目及びその理由は以下のとおりです。

- ・「マーケティング」
消費者の期待を超える商品とサービスを提供するための市場調査、営業、研究開発、生産技術に関する知識・経験を持つ取締役が必要である。
- ・「IT・DX」
ビジネスプロセス変革、新規事業分野の開拓につながるIT・DXの知識・経験を持つ取締役が必要である。
- ・「サステナビリティ」
当社を取り巻くESGの課題に向き合い、ステークホルダーと協働し取り組むことで、グループの持続的な企業価値向上を目指すための知識・経験を持つ取締役が必要である。

氏 名	各取締役の知識・経験等							
	企業経営	財務 会計	法務 コンプライアンス リスクマネジメント	人事 人財	グローバル	マーケ ティング	IT・DX	サステナ ビリティ
尾賀 真城	○		○			○		○
松出 義忠	○	○	○					○
佐藤 雅志				○		○	○	○
松風 里栄子	○	○			○	○		
マッケンジー・ クラグストン（社外）			○	○	○			○
庄司 哲也（社外）	○			○	○		○	
内山 俊弘（社外）	○		○		○	○		
種橋 牧夫（社外）	○	○	○					○
溝上 俊男	○	○			○		○	
福田 修二（社外）	○	○	○	○				
山本 光太郎（社外）			○		○			○

(注) 1. 取締役会としてのスキルバランスを明確化するため、各取締役が保有するスキルのうち、特に当社において「期待する」スキルに絞って記載しており、保有する全てのスキル（知識・経験・能力）を表すものではありません。
2. 溝上俊男氏、福田修二氏及び山本光太郎氏は、監査等委員である取締役です。
3. 当社グループでは、人材を「人財」と表記し、全ての従業員を会社の宝であるという考えを浸透させております。